



令和3年度学校だより

6月7日

五福校 ごふくこう

No36

文責 本田

いきものがかりのインタビューに思うこと

いきものがかりの山下さんが今度メンバーを脱退し別々の道を歩まれることになった時のインタビューがとても心に残りました。いきものがかりは小・中・高校と同じ学校に通っていた水野さんと山下さんが小学校1年生の時に一緒に金魚に餌をあげる「生き物係」をしていたことからつけられています。水野さんは、「6歳のときに会って、友達になって、メンバーになって。18歳のときに近所の公民館のベンチで『こんなことできたらいいよなあ』って企んだことは、ほぼぜんぶ叶って。今、38歳になって、振り返れば『楽しかったな』と言ってるんだから、俺たちは幸せだったんじゃないかなと思います」と山下さんと紡いだ歴史を回顧しています。メンバーから“友だち”に戻る山下さんに向けて、「これから、久しぶりに俺らは別々のことをするんだから、精一杯楽しもう。ありがとう。これからもよろしく」と饞の言葉を贈っています。小学校の時の出会いから一緒に夢を語って、ずっと一緒に歩いて行けるこんな友達ってすごいですね。五福小の子どもたちにもこんな出会いがあることを心から願っています。本当の友達って一緒に夢を語り合ったり、苦しい時に声をかけあったりするそんな関係だと思っています。



生活委員のみんながくつ箱の整理整頓を教えています。

今日は朝から早く登校してくる子どもたちがいるなと思ったら、生活委員会の子どもたちが、1年生にくつの整理整頓の仕方を教えていました。ただ口で言うのではなくタブレットで写真を示しながら実際にさせていたところがすごいなと思いました。こういうふうにはわかりやすく丁寧に教えてもらおうと低学年の子どもたちもとても助かると思います。思わず「やってみせ、言って聞かせてさせてみて、ほめてやらねば人は動かじ」山本五十六の言葉を思い浮かべました。



花や野菜がたくさん育っています。

最初学校に来た時から比べるとずいぶん玄関の周りや花壇が賑やかになってきました。2年生は東側の花壇を使ってサツマイモを植えました。4年生はゴーヤを育てています。花壇もまた緑化委員の子どもたちが草取りをして千日紅の苗を植えるように計画しています。先週は1年生がとうもろこしの皮を剥く体験をしました。自分の手で育てていく充実感や期待感、体験を通してしか学べないものを大切にしていきます。

